

インターネットや技術の発達によりネットゲームやソーシャルゲームも発展しています。ネットゲームが主流となった今、時間や場所を問わずデータのアップデートが可能になり、私たちユーザーの飽きがこないように様々な工夫がされています。そのような工夫の中には、ゲーム課金と呼ばれるものがあります。ゲーム課金に関するトラブルをご紹介します。

トラブルの例

例1 Wi-Fi接続によるトラブル

日頃から、息子に母親の古いスマホを自宅のWi-Fiに繋げて使用させていた。アカウントにログインした状態であったため息子が課金してしまった。



例2 IDやパスワードの共有トラブル

ネット上で意気投合した人に自分のアカウント情報を教えて、ゲームを攻略してもらった。その後、パスワードが変更されてログインできなくなり、登録していたクレジットカード情報を悪用され、課金されてしまった。



課金をしてしまう心理

ゲームをしていると、次のような気持ちになり課金をしてしまうことがあります。

ゲームを有利に進めたい

他の人より優位に立ちたい、もっと簡単にゲームをクリアできるようになりたい。

時間がもったいない

無駄な時間や労力を使いたくない。
すぐに強くなって自慢したい。

トラブルの相談件数

トラブルの相談件数は、2023年には8432件と、年々増加しています。※1



ネットゲームの契約は 取消が難しい

クレジットカードは現金がなくても利用可能です。便利な反面、お金を使用したという感覚を持ちづらく、繰り返し課金をしまい、請求額が高額になってしまったケースもあります。

未成年者が大人の承諾を得ずに行った高額な契約は、民法上取り消しができるとされていますが、クレジットカードで決済している場合には、**契約の解除は容易ではありません**。クレジットカードにはカード名義人の管理義務がありますので、カード名義人である大人の責任が問われるためです。また、家族であっても他人名義のクレジットカードを使用することは**犯罪**です。

ネットゲームに関するトラブルの相談件数は増加し、購入金額も高額となるケースがあります。気持ちよくゲームをするためにも、利用ルールについて、事前に保護者としっかり話し合う必要があります。決めたルールの中で遊ぶことが自身や家族の安全にも繋がります。

※1 出典：独立行政法人 国民生活センター https://www.kokusen.go.jp/soudan_topics/data/game.html